



4月18日 三島中学校保健室

4月13日(日)に、徳島県内で麻しん(はしか)の発生が確認されました。麻しんは、とても感染が広がりやすく、妊娠中の人感染すると流産や早産を起こす可能性がある感染症です。自分も周りの人も感染させないように、麻しんについて知っておきましょう!

※厚生労働省 HP 引用

【麻しん(はしか)とは】

- ・麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症
- ・麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、その感染力は非常に強い



【症状について】

- ・感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れる
- ・2~3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹(赤いブツブツ)がでる
- ・肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症する



【ワクチンについて】

- ・麻しんの予防接種(ワクチン)が最も有効な予防法
- ・麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできない
- ・麻しんの患者さんに接触し、72時間以内にワクチンの接種をすると、発症を予防できる可能性がある
- ・2回の接種を受けることで1回の接種では免疫が付かなかった人の多くに免疫をつけることができる(1回のみ接種の人で、周りに赤ちゃん、幼児や妊婦さんがいる場合は、2回目の接種も検討してください。)



【麻しんにかかった場合は?】

- ・発疹、発熱などの麻しんのような症状がある場合は、麻しんの疑いがあることをかかりつけ医または医療機関に電話等で伝え、受診の要否や注意点を確認してから、その指示に従う



- ・麻しんの感染力は非常に強いので、医療機関へ移動される際は、周囲の方への感染を防ぐためにもマスクを着用し、公共交通機関の利用を可能な限り避ける

※麻しんと診断された場合は、すぐに学校にもご連絡ください。